

現代中国研究拠点事業「貿易班」、ミニ・ワークショップのご案内

末廣昭・東京大学社会科学研究所（文責）

2008年5月22日

はじめに

東京大学・現代中国研究拠点事業は2年目に入りました。わたしたち「貿易班」は、2007年度は中国と東アジア、世界市場との貿易関係についてデータを収集・整理・分析し、その成果を『中国の台頭と東アジア域内貿易：World Trade Atlas (1996-2006) の分析から』（宮島良明・大泉啓一郎著、東京大学社会科学研究所、2008年3月、234頁）と題して刊行いたしました。

2008年度は、テーマを「中国と東南アジア：局地的地域協力と大メコン圏（Greater Mekong Sub-region: GMS）開発」に設定し、引き続き中国と東南アジアの経済交流に焦点をあてると同時に、GMSの展開もフォローしていきたいと考えています。そこで、まず6月27日にキックオフのためのミニ・ワークショップを開催し、11月11日（火）もしくは12日（水）に、タイの中国研究所長ソムポップ・マーナランサン教授をお招きして、国際ワークショップを開催する予定です。なお、これらの研究事業は、2008年度から開始された古田元夫先生を代表者とする科学研究費補助金基盤研究B「ASEAN新規加盟国の「中進国」ベトナムと地域統合・日越関係を視野に入れて」と協力関係にあります。

ご関心のあるかたは、ぜひご参加ください。

ミニ・ワークショップ「中国と東南アジア：局地的地域協力と大メコン圏（GMS）」

日時 2008年6月27日（金） 午後1時から午後5時

場所 東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟5階、センター会議室（549号室）

（地図：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_08_02_j.html）

報告：

報告1 末廣昭（東京大学社会科学研究所） 問題提起「中国、局地的地域協力、GMS」

報告2 宮島良明（同上）・大泉啓一郎（日本総合研究所）

「World Trade Atlas 2007 からみた中国南部の省と東南アジアの貿易関係」

報告3 工藤年博（アジア経済研究所）「中国とミャンマーの経済関係」

コメント：

コメント1 ベトナム研究者から（未定）

コメント2 日本のアジア地域協力戦略の研究者の観点から（未定）

※5時終了後、本郷界隈で懇親会を予定しています。